

新社会人のためのコミュカアツプ

「社会でのあり方」講座

- ☑上司との接し方がわからない
- ☑会社になじめない
- ☑敬語がうまくつかえない
- ☑受け入れてもらえるか不安

社会人デビューに伴う不安な気持ちは皆同じです。

そんな不安を払拭し「**デキる新人**」となるために**スタートアツプ**をサポートします。

スバリ

会社の先輩や上司が新人に本当に求めているのは意外と簡単！！
「**コミュニケーション力**」なのです。

元氣な挨拶、爽やかな返事、「イキイキ・キビキビ」精神で社会人デビューをしましょう。

スタートアツプコース

5時間

研修3つのねらい

- 1、学生から社会人へのマインドチェンジをする
- 2、自分から周囲との関係を構築できるようにする
- 3、ビジネスマナー以前の社会常識を習得する



研修カリキュラム

- 1、社会人としての心構え
- 2、プロフェッショナルな印象をつくる
- 3、挨拶の基本
- 4、返事の仕方
- 5、職場での言葉遣い
- 6、ビジネスコミュニケーションと仕事の進め方
- 7、社会人がやっていいこと悪いこと

教育機関の先生方へ

新社会人へなることは、だれでも通過する人生の出来事で難しいことではありません。しかし、出だしでつまづく人が10人中5人ほどいるのは残念なことです。企業の方から、最近の新入社員は・・・という話をよく耳にします。「挨拶もしない」「無断で会社を休む」「仕事を頼むとイヤな顔をする」などなど、募集では苦勞したのに困りました！というお言葉。早期退職の理由は、人間関係がいちばん多いと言われます。この研修は社会人デビューの前に、どうすれば職場の人たちに受け入れてもらえるかを一緒に考え不安を自信に変えていくための研修です。

～新社会人のみなさんの健やかな歩みを祈りつつ～

自己実現のスタートは、ビジネス・コミュニケーションマナーから！！

新社会人のためのコミュカアップ「社会でのありがた」講座カリキュラム

内 容 (5時間)

※時間・対象に
応じ内容はカ
スタマイズが
可能です

1. 社会人としての心構え
 - ・学生と社会人のちがい
 - ・仕事に対する心構え
2. プロフェッショナルな印象をつくる
 - ・第一印象の重要性
 - ・「笑顔」は最高のコミュニケーション
3. 挨拶の基本
 - ・好感度の高い挨拶のポイント
 - ・立ち姿
 - ・お辞儀は美しく丁寧に
 - ・接客基本用語
4. 返事の仕方
 - ・好感度の高い返事とは
5. 職場での言葉遣い
 - ・尊敬語、謙譲語、丁寧語
 - ・一般的なビジネス敬語と表現法
 - ・若者に多い間違った敬語
6. ビジネスコミュニケーションと仕事の進め方
 - ・傾聴実習
 - ・指示の受け方
 - ・「報・連・相」
7. 社会人やっていること悪いこと
 - ・ビジネスマナー以前の社会常識

その他おすすめ研修

■ スチューデントマナー研修

・マナーの大切さ

・第一印象の重要性

・好印象のコミュニケーション

・挨拶の基本

・学生生活から社会生活へ

■ 就職活動マナー研修

・身だしなみと第一印象の重要性

・挨拶のマナー

・敬語のマナー

・面接対応のマナー

・電話対応メールのマナー

■ 信頼と好感を築く面接対応

・面接の目的

・印象を決める挨拶とお辞儀

・面接官はここを見ている

・面接試験の流れ

面接中のポイント

■ 新社会人のビジネスマナー

・社会人としての心構え

・挨拶の基本

・職場での言葉遣い

・ビジネスコミュニケーション

・ビジネス電話の応対

■ 先生のためのビジネスマナー

・ビジネスマナーの基本

・第一印象の重要性

・信頼を与える「挨拶」の仕方

・クレーム防止のコミュニケーション

■ 研修基本料金他

企業向け研修	半日(2~3時間)	50,000+消費税
	1日(5~7時間)	100,000+消費税
教育機関向け研修	1時間あたり	10,000+消費税

※遠方の場合は、別途交通費を頂戴させていただきます。

※お時間や人数などご予算に応じますのでお気軽にお問い合わせください。

※お試し研修の1回あたりの人数の上限は30人とさせていただきます。

※講師派遣型研修です。研修は御社(御校)内または指定の会場で実施いたします。

※資料コピー(テキスト)は、受講者の人数分、主催者様側での手配をお願いいたします。

※ご質問・お問い合わせはお気軽にお電話・メールにてお願いいたします。

キャリアリバー ~最初は小さな流れでも、努力してキャリアを重ねることで大河になれる~

代表 人財開発支援協会認定講師 鈴木 修子

<プロフィール>

27年間にわたり教育に携わってきました。

1981年~1993年 福島県公立学校養護教諭として、小中学校に勤務。

1997年 学校法人新潟総合学院郡山情報ビジネス専門学校入社。

医療秘書系学科教員として授業の他、外部講演や研修も多数実施してきた。

2005年より教務部長の役職を務めた。

2009年 学校法人福島学院福島学院大学へ転職。就職課長、キャリア支援室長として学生のキャリア支援を行った後現職

2014年 郡山情報ビジネス公務員専門学校・国際メディカルテクノロジー専門学校非常勤講師

2015年 一般財団法人 日本医療秘書学会特別会員

福島県産業振興センター登録専門家

